

## 調査委員会における調査研究報告書

教科名（ 外国語 ）

No.1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（ 東京書籍 ） 発行者番号（ 2 ）	発行者（ 開隆堂 ） 発行者番号（ 9 ）	発行者（ 三省堂 ） 発行者番号（ 15 ）
1 内 容	<p>①日本の伝統工芸、世界遺産、安全教育、異文化・国際社会など、発達段階を考慮しながら世界観を広げられるようになっている。</p> <p>②丁寧な文法解説と豊富な図解で、文法の内容が理解できるようになっている。</p> <p>③各単元の始めのページには、「単元を通した問い」が示されており、題材への興味を高める工夫がなされている。</p>	<p>①第1学年では、日本の伝統文化について触れ、第2学年では、異文化・国際理解について深め、第3学年では、自然科学・環境問題など社会的な問題をテーマとし、発達段階に配慮している。</p> <p>②新出文法・表現は、どのような場面で使われるのかを視覚的に理解できるようにしている。</p> <p>③アウトプット活動（Retell, Interact）に特化したページがあり、「話す」活動が重視され、即興力を高める工夫がなされている。</p>	<p>①第1学年では、学校生活、家族、福祉について触れ、第2学年では、異文化・国際理解について深め、第3学年では、世界平和のスピーチなど社会問題をテーマとし、発達段階に配慮している。</p> <p>②文法のまとめのページでは豊富な図解で解説されており、文法の内容が理解できるようになっている。</p> <p>③「GET」のページでは、新出文法を使用して練習するドリル課題があり、自主的に学習ができるように工夫がなされている。</p>
2 構成・分量	<p>①各課ごとの「Unit Activity」、数課ごとの「Stage Activity」がある。目的や場面に応じた言語活動を「Let's～」として配置されている。（全48場面） 読み物ページが数課ごとに配置されている。（全8話）</p> <p>②学習内容の構成 ・第1学年 単元数：12 be動詞も一般動詞も最初の課から混在している。（be動詞・一般動詞・can・代名詞・疑問詞・不定詞（名）・命令文・場所を表す前置詞・動名詞・be動詞過去形・一般動詞過去形・三単現・現在進行形・感嘆文・SVC（形）・一般動詞過去形・be動詞過去形・There is・過去進行形） ・第2学年 単元数：8（be going to, will・SV00・SV0C・接続詞（when, if, that, because）・不定詞・仮主語のit・have to, must・動名詞・助動詞・疑問詞＋不定詞・SVC+that（I'm sure that …）・比較級・最上級・同等比較・受動態） ・第3学年 単元数：7（現在完了・SV0C（make）・SV00＋that節・現在完了進行形・SVO＋不定詞・間接疑問・SVO＋what節・分詞による後置修飾・接触節による修飾・関係代名詞主格・仮定法・関係代名詞目的格）</p> <p>③第1学年で過去進行形まで、第2学年で受動態まで、第3学年で完了形と後置修飾～接触節～関係代名詞の順で学習するようになっている。</p>	<p>①各課ごとの「Activity」、数課ごとの「Project」がある。目的や場面に応じた言語活動を「Power-Up」として配置されている。（全15場面） 第2学年・第3学年は、読み物ページが数課ごとに配置されている。（全7話）</p> <p>②学習内容の構成 ・第1学年 単元数：10 最初はbe動詞から始まっている。（be動詞・一般動詞・複数形・疑問詞・can・that is・代名詞・三単現・there is・現在進行形・一般動詞過去形・be動詞過去形・過去進行形） ・第2学年 単元数：8（be going to, will・接続詞（if, when, that）・must, have to・不定詞・動名詞・比較級・最上級・同等比較・疑問詞＋不定詞・SVC（一般動詞）・SV00・受動態・現在完了・現在完了進行形） ・第3学年 単元数：7（SVO＋不定詞・仮主語のit・SV＋that節・SVC＋that節・間接疑問・SVO＋that節・SV0C・SVO＋不定詞・分詞による後置修飾・関係代名詞（主格）・関係代名詞（目的格）・仮定法）</p> <p>③第1学年で過去進行形まで、第2学年で受動態と現在完了まで、第3学年では各種構文を学習するようになっている。</p>	<p>①各課ごとの「Take Action!」、数課ごとの「Project」がある。目的や場面に応じた言語活動を「Take Action!」として配置されている。（全36場面） 読み物ページは情報収集場面を想定したものもある。（全18話）</p> <p>②学習内容の構成 ・第1学年 単元数：8 be動詞も一般動詞も最初の課から混在している。（be動詞・一般動詞・can・this is・代名詞・三単現・現在進行形・一般動詞過去形・be動詞過去形・SVC・will, be going to） ・第2学年 単元数：7（接続詞（when, if, that）・不定詞・there is・動名詞・SV00・SV0C・比較級・最上級・同等比較・現在完了） ・第3学年 単元数：7（現在完了進行形・受動態・分詞による後置修飾・関係代名詞（主格）・関係代名詞（目的格）・仮定法・間接疑問・原形不定詞）</p> <p>③第1学年で過去形及び未来の表現まで、第2学年で現在完了まで、第3学年で受動態を学習するようになっている。なお、過去分詞を使う表現では、現在完了を先に取り上げるように構成されている。</p>
3 表記・表現	<p>①「目標」については、各パートに、「キーセンテンス」については、ページ左下に、「本文」については、見開きの一方に本文、もう一方にアクティビティが、「新出単語」については、本文のページに発音記号、アクセントがそれぞれ表記されている。</p> <p>②内容理解を補助するイラストや写真が使われている。</p> <p>③発達段階に応じた文量と表現になっている。</p>	<p>①「目標」については、各パートに、「キーセンテンス」については、会話文の中で、「本文」については、1ページに1つの内容で収まるように、「新出単語」については、本文のページに発音記号、アクセントがそれぞれ表記されている。</p> <p>②内容理解を補助するイラストや写真が使われている。また、絵カードが付録で付いている。</p> <p>③発達段階に応じた文量と表現になっている。</p>	<p>①「目標」については、各レッスンに、「キーセンテンス」については、ページ左下に、「本文」については、見開きの一方に本文、もう一方にアクティビティが、「新出単語」については、本文のページに発音記号、アクセントがそれぞれ表記されている。</p> <p>②内容理解を補助するイラストや写真が使われている。</p> <p>③発達段階に応じた文量と表現になっている。</p>
4 使用上の便宜	<p>①小学校で学んだ表現を使って、「聞く」「話す」活動から授業に入るようになっている。第1学年では、最初にUnit 0を設けて、小学校での活動、アルファベットの名前と音、文字の書き方の要点をまとめているなど、小中接続の工夫がなされている。（全6ページ）</p> <p>②学び方コーナーを随所に設定し、自学自習ができるようになっている。また、QRコードがある。</p> <p>③実生活に即した場面や状況に合わせた典型的な表現について、モデル対話を通して学べるよう、即興力を高めるための工夫がされている。</p> <p>④A4判サイズを使用している。</p>	<p>①第1学年から学ぶことを重視し、文字学習への配慮、帯活動の設定など、小中接続の工夫がなされている。（全15ページ）</p> <p>②アルファベットの書き方や辞書の引き方、音の変化、フォニックスを意識するようになっている。学年進行とともに新たな目標を設定し、何を学んでいるのか、自学自習を意識できるようになっている。また、QRコードがある。</p> <p>③スモールステップを踏んだ3つの活動、やりとりの中で、理由までを含めて意見を述べるなど、自分がよいと思う意見を選ぶよう、即興力を高めるための工夫がされている。</p> <p>④AB判サイズを使用している。</p>	<p>①小学校で体験した場面で話される会話、学んだ語句を使った会話を聞くとともに、学んだ語句を使って話すなど、小中接続の工夫がなされている。（全11ページ）</p> <p>②QRコードには、本文の音声や活動モデルの映像、英語落語の動画、発音のアニメーションなどコンテンツがあり、自学自習ができるようになっている。</p> <p>③巻末の付録には、目的や場面、状況に応じたロールプレイシートがあり、即興力を高めるための工夫がされている。</p> <p>④AB判サイズを使用している。</p>

# 調査委員会における調査研究報告書

教科名（ 外国語 ）

No.2

調査研究の観点	所 見		
	発行者（ 教育出版 ） 発行者番号（ 17 ）	発行者（ 光村図書出版 ） 発行者番号（ 38 ）	発行者（ 新興出版社啓林館 ） 発行者番号（ 61 ）
1 内 容	<p>①第1学年では、身近なテーマとして学校生活・日常生活に始まり、日本の伝統文化について触れ、第2学年では、自然科学、職場体験が取り上げられ、第3学年では、環境問題（食品ロスなど）をテーマに世界観を広げられるようになっている。</p> <p>②文法のページでは、第1学年から日本語と英語の語順を意識した内容になっている。</p> <p>③巻末のページに、Can-Do 自己チェックリストが付いていて、第3学年分の学習到達目標が記載されており、見通しをもった工夫がされている。また、各学年に「How to Study」という英語学習の方法が記載されており、学習意欲を高める工夫がされている。</p>	<p>①正月の初詣・外国旅行・職業体験・広島の平和学習・環境問題など発達段階を考慮しながら世界観を広げられるようになっている。主人公を中心とした3年間継続したストーリーとなっている。</p> <p>②4技能5領域に特化した帯教材やアクティビティが多い。</p> <p>③言語の使用場面をリアルに設定し、表現や文法をインプットして、Listen→Speak→Writeの言語習得の理論に沿った内容となっている。</p>	<p>①第1学年では、題材として日常の出来事（学校での友達や先生との対話、クラス発表など）に始まり、第2学年では、実在する人物や出来事が取り上げられ、第3学年では、障害・反戦平和・地域創生など社会的問題を題材として発達段階に応じて、世界観を広げられるようになっている。</p> <p>②前置詞をイメージで理解できるようになっている。</p> <p>③アウトプット活動がスムーズにいくように、スモールステップでタスクが設定されている。また、役に立つ表現集などのコンテンツも多く設定されている。</p>
2 構成・分量	<p>①数課ごとのまとまりで「Activity」がある。目的や場面に応じた言語活動を「Useful Expressions」として配置されている。（全4話）読み物ページが数課ごとに配置されている。（全14話）</p> <p>②学習内容の構成                      ・第1学年 単元数：9 be 動詞も一般動詞も最初の課から混在している。（be 動詞・一般動詞・疑問詞・can・代名詞・三単現・複数形・一般動詞過去形・be 動詞過去形・現在進行形・疑問詞・have to、must・may・able to・be going to、will・SVC・there is）                      ・第2学年 単元数：9 (SVOO・接続詞 (that, if, when)・過去進行形・不定詞・動名詞・SVO+that 節・疑問詞+不定詞・仮主語の it・比較級・最上級・受動態・間接疑問・感嘆文・SVOC・SVO+ 不定詞・原形不定詞)                      ・第3学年 単元数：9（現在完了・現在完了進行形・分詞による後置修飾・接触節・関係代名詞（主格・目的格）・仮定法）</p> <p>③第1学年で過去形及び助動詞まで、第2学年に受動態まで、第3学年で完了形と後置修飾～接触節～関係代名詞を重点的に学習するようになっている。</p>	<p>①帯活動として「Activity」がある。目的や場面に応じた言語活動を「Daily Life」として配置されている。（全16場面）読み物ページが数課ごとに配置されている。（全14話）</p> <p>②学習内容の構成                      ・第1学年 単元数：10 be 動詞も一般動詞も最初の課から混在している。（be 動詞・一般動詞・can・疑問詞・動名詞・不定詞（名）・代名詞・命令文・三単現・一般動詞過去形・be 動詞過去形・現在進行形・SVC）                      ・第2学年 単元数：8（一般動詞過去形・be 動詞過去形・過去進行形・接続詞 (when, that, if, because)・動名詞・不定詞・be going to、will・there is・SVOO・have to、must、should・比較級・最上級・同等比較・受動態・SVOC・SVO + 不定詞)                      ・第3学年 単元数：6（受動態・原形不定詞・SVO+ that 節・現在完了・現在完了進行形・仮主語の it・関係代名詞（主格）・関係代名詞（目的格）・分詞による後置修飾・間接疑問・疑問詞+不定詞・仮定法）</p> <p>③第1学年で過去形の後に現在進行形が配置されている。第1学年・第2学年で過去形は、受動態は、第2学年・第3学年で、第3学年では、関係代名詞の後に分詞による後置修飾を学習するようになっている。</p>	<p>①数課ごとのまとまりで「Project」がある。目的や場面に応じた言語活動を「Let's Talk」として配置されている。（全23場面）読み物ページが数課ごとに配置されている。（全5話）</p> <p>②学習内容の構成                      ・第1学年 単元数：8 be 動詞から始まっている。（be 動詞・代名詞・疑問詞・一般動詞・命令文・複数形・疑問詞・can・三単現・be 動詞過去形・一般動詞過去形・現在進行形）                      ・第2学年 単元数：8 (there is・接続詞 (when, if, because, that)・過去進行形・will, be going to, must・動名詞・不定詞・仮主語の it・SVC・SVOO・SVOC・比較級・最上級・同等比較・受動態)                      ・第3学年 単元数：8（現在完了・現在完了進行形・間接疑問・疑問詞+不定詞・SVOC・SVO+不定詞・原形不定詞・関係代名詞（主格）・関係代名詞（目的格）・分詞による後置修飾・仮定法）</p> <p>③第1学年では、過去形の後に現在進行形が配置されている。第2学年では受動態まで、第3学年では、関係代名詞の後に分詞による後置修飾を学習するようになっている。</p>
3 表記・表現	<p>①「目標」については、各パートに、「キーセンテンス」については、ページ右上に、「本文」については、見開きの一方に本文、もう一方にアクティビティが、「新出単語」については、本文のページに発音記号、アクセントがそれぞれ表記されている。</p> <p>②内容理解を補助するイラストや写真が使われている。</p> <p>③発達段階に応じた文量と表現になっている。</p>	<p>①「目標」については、各レッスンに、「キーセンテンス」については、ページ右下に、「本文」については、見開きの一方に本文、もう一方にアクティビティが、「新出単語」については、本文のページに発音記号、アクセントがそれぞれ表記されている。</p> <p>②内容理解を補助するイラストや写真が使われている。</p> <p>③発達段階に応じた文量と表現になっている。</p>	<p>①「目標」については、各パートに、「キーセンテンス」については、ページ右上に、「本文」については、見開きの一方に本文、もう一方にアクティビティが、「新出単語」については、本文のページに発音記号、アクセントがそれぞれ表記されている。</p> <p>②内容理解を補助するイラストや写真が使われている。</p> <p>③発達段階に応じた文量と表現になっている。</p>
4 使用上の便宜	<p>①イラストを使ったリスニングやゲームを用いた復習、生徒の身近な生活に即したコミュニケーション活動 (Lesson 1～3) など、小中接続の工夫がなされている。（全9ページ）</p> <p>②付属のマスキングシートを用い、重要語句やQ&amp;A活動、QRコードからアクセスする音声を利用して自学自習ができるようになっている。また、QRコードがある。</p> <p>③帯活動でQ&amp;A活動があり、会話を広げるための話題や便利な語句も紹介するなど、即興力を高めるための工夫がされている。</p> <p>④AB判サイズを使用している。</p>	<p>①「Let's start」の単元では、小学校での学習のふりかえりができるようになっている。耳から学習した英語を文字と結びつけるなど、小中接続の工夫がなされている。（全16ページ）</p> <p>②「More Information」などの日本語による情報コーナーを設け、題材への興味・関心を引き出しながら、自学自習ができるようになっている。また、QRコードがある。</p> <p>③「Target」で基本となる文法事項をくり返し活用することで、重要な文法事項の定着が図られ、即興力を高めるための工夫がされている。</p> <p>④AB判サイズを使用している。</p>	<p>①巻末では小学校での既習事項の語彙と文法にマークがついている。生徒が小学校での学びを振り返りながら、できることを確かめる内容があるなど、小中接続の工夫がなされている。（全22ページ）</p> <p>②「Your Coach」では、高校入試やその先の学びにまで役立つ領域別のコツを示し自律的学習を促し、自学自習ができるようになっている。また、QRコードがある。</p> <p>③「Let's Talk」では、1分間のやり取りを続ける力を付けるようになっている。質問文と答えの手がかりとなる表現を示し、生徒が選んで使うことができるなど、即興力を高めるための工夫がされている。</p> <p>④AB判サイズを使用している。</p>